

# と しょ 図書だより



家庭数



がっき はじ  
2学期が始まりました！

ほん はい  
あたらしい本もたくさん入ります！  
み き  
見に来てね！！



## ほん もり つか 本の森の使いかた

て あら  
☆手を洗おう！

ほん もり く まえ かえ て あら  
本の森に来る前、帰ってから手を洗いましょう

☆きよりをあげよう！

カウンターにならぶときは、床の線にそってならびましょう

☆こまったときは図書委員に聞こう！

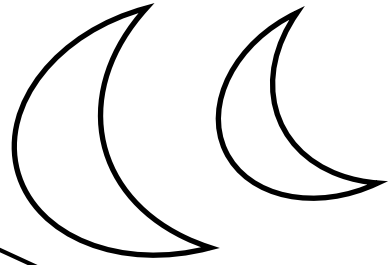
がっき としょいいん  
2学期から、図書委員は

ネームプレートをつけています

きがる こえ  
気軽に声をかけてくださいね！



# じゅうごや 十五夜って なあに？



「十五夜」という言葉を聞いたことはありますか？

十五夜は「中秋の名月」とも呼ばれ「秋の真ん中に出る月」という意味があります。

では、秋の真ん中とはいつでしょう？

それは、月の満ち欠けを元に作られ

明治5年まで使われていたカレンダー



「太陰太陽暦」を元に考えられています。太陰太陽暦では7月から9月までが秋となっており、8月15日の夜に見える月を「中秋の名月」としました。

今、使われているカレンダー「太陽暦」と太陰太陽暦とでは、1から2か月のずれがあるため、今年の中秋の名月は「10月1日」となります。

「今年の…」と書いたように、中秋の名月は毎年違う日にちになります。

中秋の名月には「お月見」をする風習があり、それぞれに意味があります。



ススキ／秋の七草のひとつ

形が稲に似ていおり、魔よけになる

月見団子／丸い形が月に似ている

月への感謝の気持ちをあらわす

農作物／豊作の感謝

今年の10月1日が、いいお天気になるといいですね。

# ほん あたらしい本

「75億人のひみつをさがせ！」 岩崎書店

作/クリスティン・ローシフト 訳/椎谷 玲子

ちょっと見ると、よくある「さがし絵」の絵本のようですが、ひとつひとつのページをよーく見て読んでみると、色々な人達の色々な物語が浮かび上がってきます。

数える、探す、ひみつを知る、クイズに答える。何通りも何回も楽しむうちに、世界中の人、ひとりひとりのかえがえのなさにも気づかされる絵本です。



「りょうりをしてはいけないなべ」 講談社

作/シゲタ サヤカ

ここは町で1番の人気レストラン。今日もコック達が忙しく働くなか、1人のコックが新しいナベを買ってきました。

「さあ！料理をいっぱい作るぞ！」とはりきって作り始めたのですが…

「ウフフ！アハハ！ジャバ〜！」なんと、このナベは、笑って料理をはきだす、とんでもないナベだったのです。



「せかいでいちばんママがすき」 教育画劇

作/あいほら ひろゆき 絵/あだち なみ

小学生の「ゆうた」と4歳の「もも」はママがだいすき！ところが、そのだいすきなママが入院することになりました。びっくりしたももは泣いてママに甘えますが、ゆうたはそれを横目にグッと我慢をするのでした。

低学年から読むことのできる本ですが、高学年の皆さんでも、保護者の方々でも、それぞれの思いが生まれる、切なく愛おしい家族の物語です。



「シャクルトンの大漂流」 岩波書店

作/ウィリアム・グリル 訳/千葉 茂樹

20世紀の初め、GPS もネットもない時代、南極をめざして出航したエンデュランス号は大きな流氷にはばまれ氷の上にとり残されてしまいました。地球上でもっとも過酷な環境で、28人の乗組員達の生きて帰るための旅が始まるのでした。

アーネスト・シャクルトンの実話をもとに描かれた、とほうもない勇気と冒険の物語絵本です。



「本屋さんのルビねこ」 理論社

作/野中 柊 絵/松本 圭以子

ある日、本屋のかたすみで、本に積もったホコリから小さなネコが生まれました。本屋のモシモさんに「ルビ」という名前をつけてもらった子ネコは、たくさんの「はじめて」に出会い成長していきます。

「もしも本の神さまがいるのなら、求めている人が求めている本に、物語に、言葉に出会えますように」本屋のモシモさんの祈りは、司書の祈りでもあります。



「ほら、ここにいるよ このちきゅうでくらすためのメモ」

作/オリヴァー・ジェファーズ 訳/tupera tupera

世界的絵本作家オリヴァー・ジェファーズが、生まれてきた息子にむけて、この世界の素晴らしさや不思議さ、生きていくために大切なことを伝えるために描いた科学絵本です。

作者は「息子よ、人生の指針とすべき言葉は3つだけだ。尊敬、思いやり、そして寛容」と語ります。

さし絵に手書きの説明もあり、さらっと読んでも、じっくり読んでも、それぞれに伝わることのある1さつです。

ほるぷ出版

